

取扱説明書 : Ver 1.01

SD-480P-IV-US

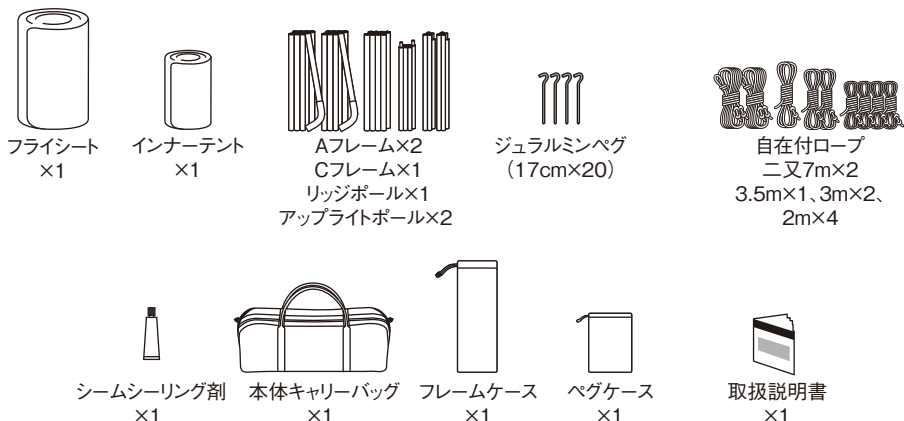
アルファブリーズ



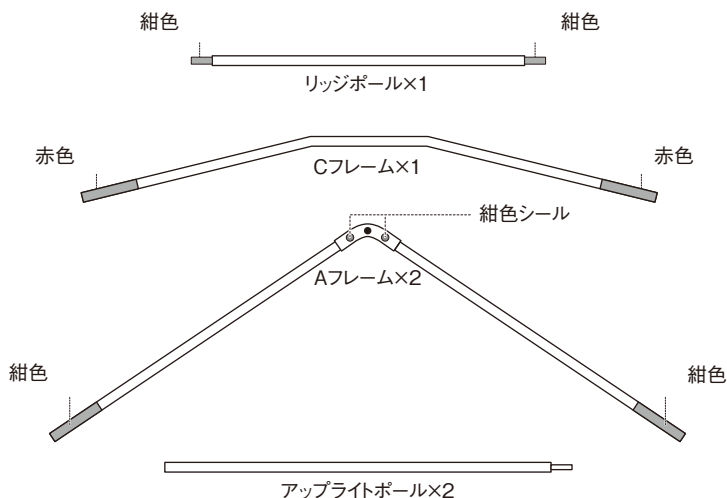
このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品はキャンプ用のテントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在は消耗品ですので、常に予備を携帯することをお勧めします。



フレームの種類



⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントは難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

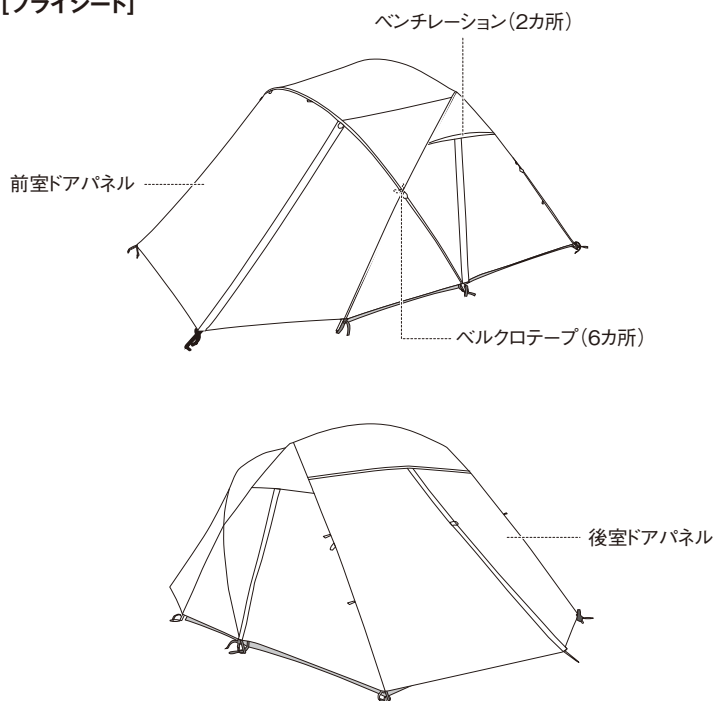
- ご使用前に本製品を点検し、各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- テントの中に高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候により、テント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、けけ崩れ、急な出水などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりフライシートの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- 樹液が付着するときにに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。シンナーやベンジン等の有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを痛めてしまいますのでおやめください。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう生地とフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がるおそれがありますので、必ず周囲の安全を確認して作業してください。
- ペグとロープでしっかりとテントを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやペグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- インナーテント内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

【フライシート】

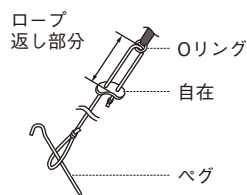
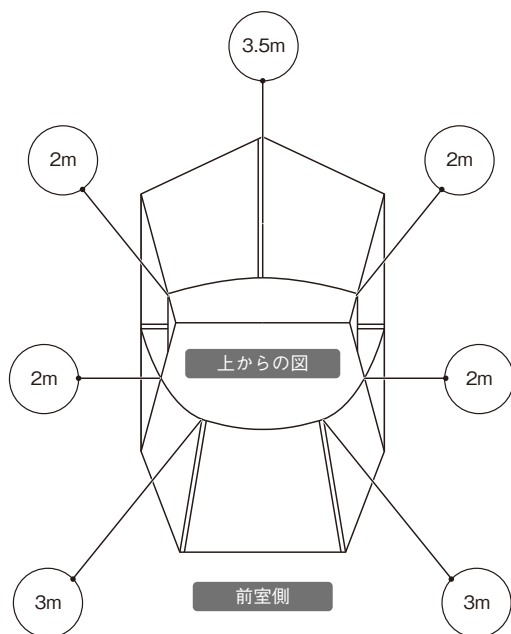


【インナーテント】



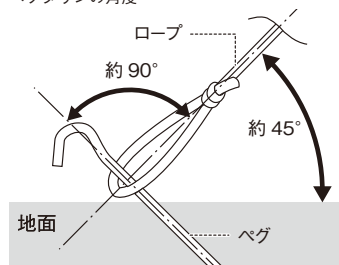
自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンの位置

自在付ロープのフライシートへの取り付け、ペグダウンは下図のように行ってください。



ロープの自在が付いている返し部分がリング側にくるように取り付けてください。

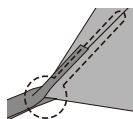
ペグダウンの角度



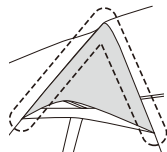
ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

使用前の準備

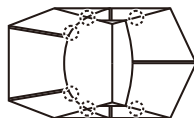
縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、フライシートのベンチレーション部やファスナー部、ボトムの一部は製造の都合上、または構造上、シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤（目止め液）を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目に沿って表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化します。剥離したときは塗布しなおしてください。下記指定箇所以外の場所から雨水が侵入した場合も必要に応じて目止めを行ってください。



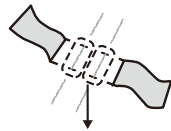
ボトムのコーナー部すべてにシームシーリング剤を塗布してください。(6カ所)



ベンチレーション部の外と内側にシームシーリング剤を塗布してください。(2カ所)



フライシート外側バルクロープの縫い付け部にシームシーリング剤を塗布してください。(6カ所)



フライシート内側バルクロープの縫い付け部の表と裏側にシームシーリング剤を塗布してください。(6カ所)

設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

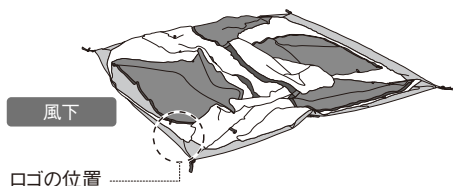
キャンプでテントを使用できるように、設営と撤収に関する次の説明に従ってください。付属品がすべて揃っていることをご確認ください。設営や撤収の際に大きな負荷をかけると、本体やフレームの損傷または事故の原因になる可能性があります。説明を理解するために、よく読んでください。

キャンプに行く前に、セット内容が揃っていることを確認してください。

安全のために、設営は必ず2人以上で行ってください。

- ① ボトムの表面が平坦な場所に平らに広がるように、インナーテントを広げてください。

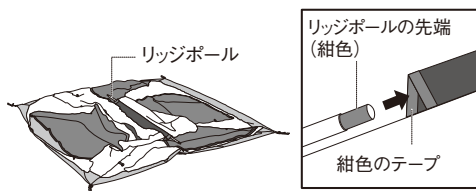
※風があるときは出入口が風下を向くように設営してください。出入口を風上に向けると、雨風が侵入したり、突然風が入り本体が飛ばされたり、破損する場合があります。



- ② インナーテント中央にある紺色のテープが付いたスリーブに、リッジポールを差し込んでください。

※リッジポールを差し込むときに、ポール先端とスリーブのテープの色が一致していることを確認してください。（ポール先端とスリーブのテープは紺色です。）

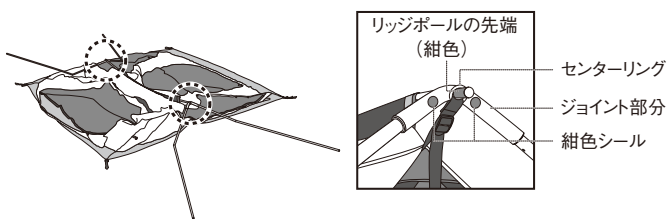
※フレームを差し込むときは、しっかり差し込んでください。フレームを引っ張ると、ジョイントが外れて適切に設営できません。



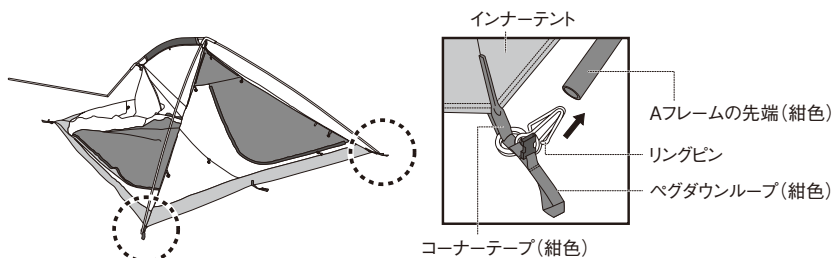
- ③ Aフレームを半分の高さに組み立て、Aフレームのジョイントの紺色シールが外側に向くように、リッジポールをジョイントに差し込んでください。リッジポールの先端がジョイントに完全に差し込まれていることを確認し、センターリングをリッジポールの先端に掛けてください。

※フレームを必要以上に高く持ち上げないでください。また風が強い場合は、強い風が収まってから、設営してください。Aフレーム、Aフレームのジョイント、およびリッジポールが損傷するおそれがあります。

※センターリングをリッジポールに掛けるときは、ベルトがねじれないように注意してください。



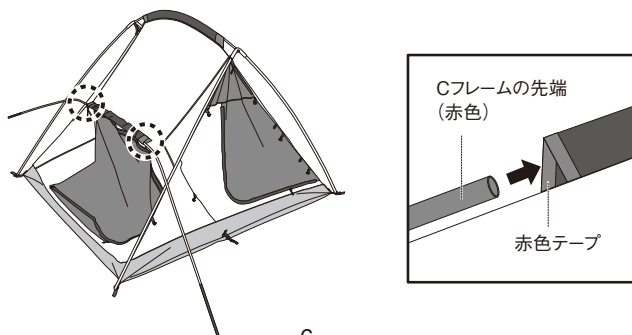
- ④ 片側でAフレームを組み立て、インナーテントのコーナーのリングピンをAフレームの両端に差し込んでください。(リングピンが取り付けられたコーナーテープは紺色です。)
次にセンターリングのテープのテンションを調整してください。
※リングピンをAフレームの先端に差し込むときには、フレームの先端が動かないようにしっかり掴み、指が挟まれないように注意しながら差し込んでください。
※差し込むときに、フレーム先端とコーナーテープの色が一致していることを確認してください。(フレーム先端とコーナーテープは紺色です。)
※持ち上げたAフレームの反対側が跳ね返って、周囲の人や物に当たらないように注意してください。



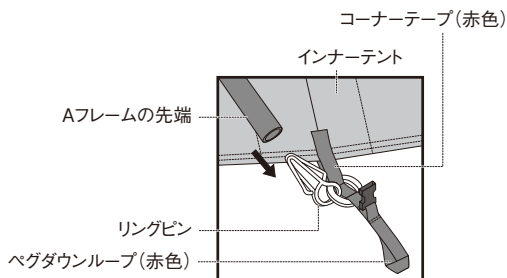
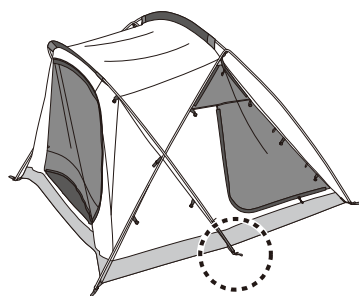
- ⑤ ④と同じ方法で、反対側のリングピンを反対側のAフレームの両端に差し込み、センターリングのテープを引いてテンションを調整してください。



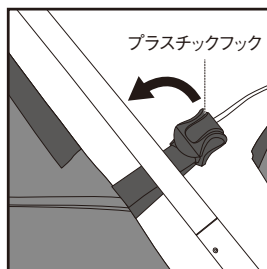
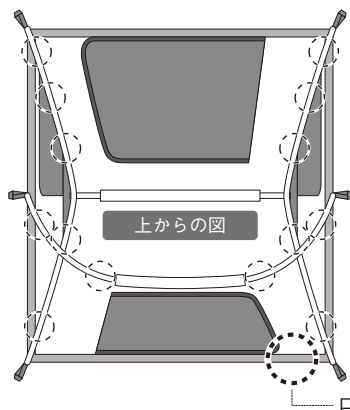
- ⑥ Cフレームを組み立て、Cフレームの中央とスリーブの中央が合うまで、赤色のテープが付いたスリーブに送り込んでください。
AフレームとCフレームの交点で、必ずCフレームを外側に配置してください。
※差し込むときに、フレーム先端とスリーブのテープの色が一致していることを確認してください。(フレーム先端とスリーブのテープは赤色です。)
フレームを差し込むときは、しっかり押してください。フレームを引っ張ると、ジョイントが外れて適切に設営できません。



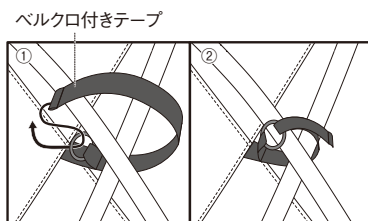
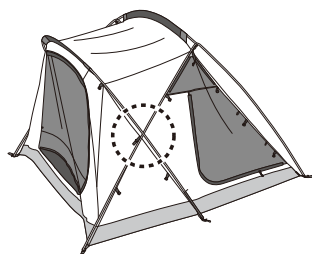
- ⑦ インナーテントのボトムのリングピンをCフレームの両端に差し込んでください。(リングピンが取り付けられたコーナーテープは赤色です。)
※差し込むときに、フレーム先端とコーナーテープの色が一致していることを確認してください。(フレーム先端とベグダウンループは赤色です。)



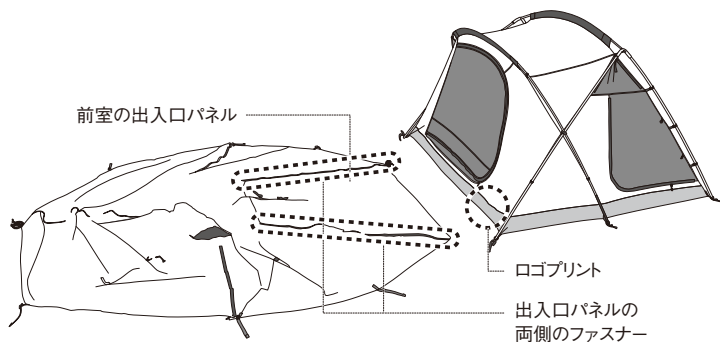
- ⑧ インナーテントのプラスチックフックを各フレームに接続してください。(14カ所)



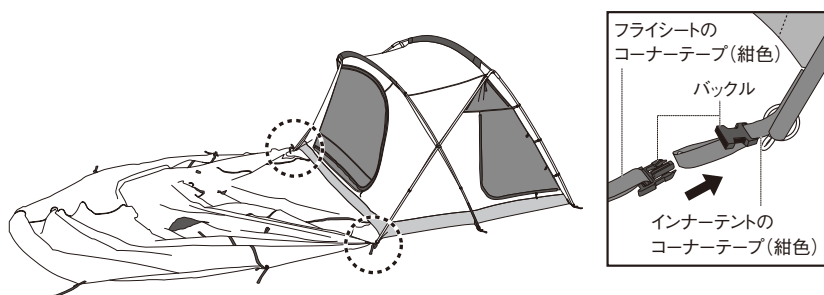
- ⑨ 図のように、AフレームとCフレームの交点でフレームにベルクロ付きテープを巻いてください。(2カ所)
※ベルクロ付きテープはねじらないように巻いてください。



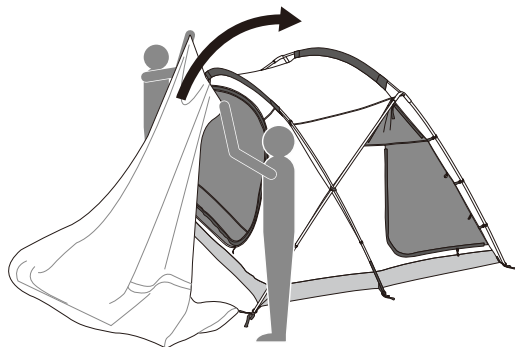
- ⑩ フライシート裏面(ロゴが印字されていない面)が上に向くように、インナーテント正面にフライシートを広げてください。
次にフライシートの出入口パネルを、インナーテントのロゴが印字されたパネルに合わせてください。



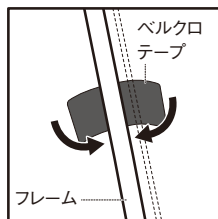
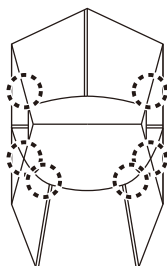
- ⑪ フライシートとインナーテントの紺色のコーナーテープ先端のバックルを接続してください。
※コーナーテープがねじれないように注意してください。



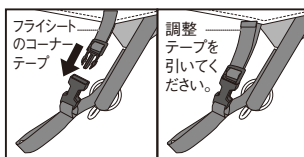
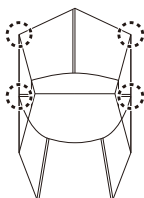
- ⑫ それぞれ1人ずつがフライシートの両側に立ちます。インナーテントに接続していないコーナーを持ち上げて、フライシートをインナーテントに被せてください。
次にフライシートとフライシートのパネルが合うように、インナーテントの位置を調整してください。



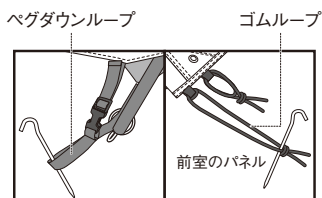
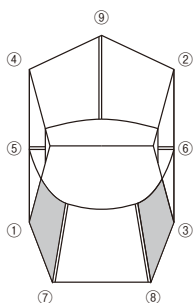
- ⑬ フライシート内側に付いているずれ防止のベルクロテープをフレームに巻きつけて、フライシートを固定してください。(6カ所)



- ⑭ インナーテントとフライシートの各コーナーテープ先端のバックルを接続してください。接続後、全てのバックルの調整テープを引いてください。(4カ所)
※接続するときは、各コーナーテープの色が一致し、コーナーテープがねじれていないことを確認してください。



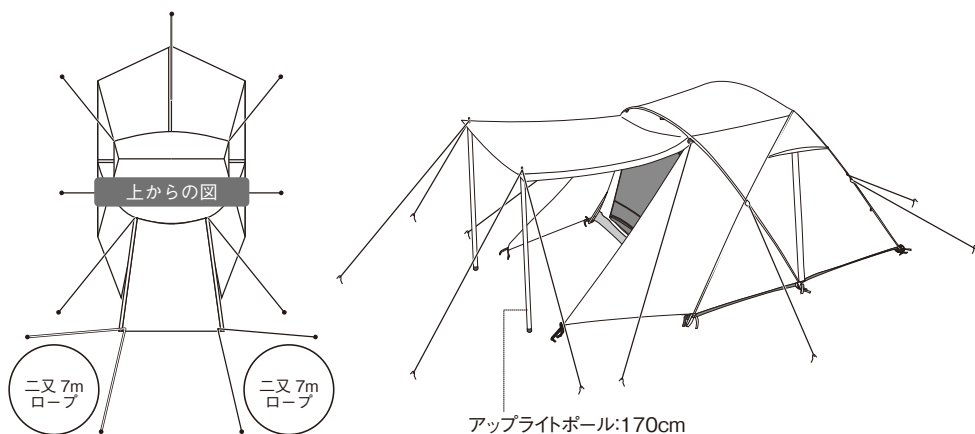
- ⑮ ベグを各コーナーのベグダウンループに通し、外側に引きながら下図の順にベグダウンします。⑦と⑧の箇所は、前室の先端を引っ張り、前室側面パネル(下図の灰色部分)のゴムループにベグを通して固定してください。
※前室を強く引きすぎると、ファスナーが閉まらなくなり、破損する可能性があります。引きすぎにご注意ください。
※ファスナーをすべて閉めてからベグダウンしてください。ファスナーを閉めずにベグダウンすると、ドアパネルを閉じられなくなる場合があります。



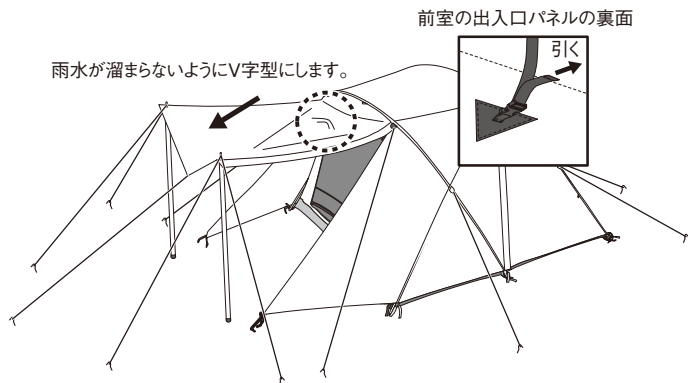
- ⑯ 4ページの「自在付ロープのフライシートへの取り付け、ベグダウンの位置」の図のように各自在付ロープをフライシートに取り付けて引き、ベグで固定してからテンションをかけてください。
※ロープは引きすぎると、フライシートに負担がかかり、破損するおそれがあります。引きすぎにご注意ください。

ドアパネルの張り出し方

ドアパネルを張り出す場合は、付属のアップライトポールを2本使い、アップライトポールの先端をドアパネルの端にあるグロメットに差し込み、二又ロープのセンターループをかけて立ち上げてください。シワが残らないようにロープの方向を調整してください。



降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し、勾配をつけるか、ポールを短く使い、前面中央を大きくV字にロープで下げ、水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。このとき前室の出入口パネルの裏面にあるバックルを接続しテープを引くと、より雨水が溜まりにくくなります。



撤収の手順

撤収は、設営と逆の順序で行ってください。テントの中にもが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナーテントの出入口のファスナーを少し開いておくと、巻き取りやすくなります。

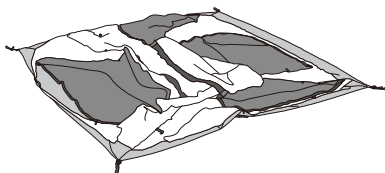
- ① 全てのベグを地面から抜き取り、自在付きロープをまとめてください。
※強風時は、風上側のテントボトムのベグは抜き取らずに残してください。



- ② 各コーナートープのバックルとフライシート内側のベルクロテープを取り外し、インナーテントからフライシートを取り外してください。

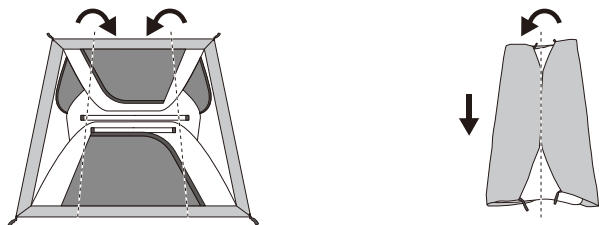


- ③ すべてのプラスチックフックとフレームのベルクロテープを取り外し、Cフレーム、Aフレーム、リッジポールの順にインナーテントから取り外してください。
インナーテントのベグが残っている場合は、この時点ですべて取り除いてください。
※リングピンからフレームを取り外すときは、フレームをしっかり支えてください。
フレームが跳ね返る場合があります、非常に危険です。
※フレームをスリーブから取り外すときは、周りの状況をよく確認し、必ず押し出しながら取り外してください。



- ④ 図のように、本体キャリーバッグの幅に合わせてフライシートとインナーテントを折りたたんでください。

・インナーテントのたたみ方



① 両端を中央に向かって内側に折ってください。

② 縦に2つ折りして矢印の方向に巻いてください。

・フライシートのたたみ方

2人でフライシートをつかみ、1人が前室出入口パネル上部の中央を、もう1人が後室出入口パネル上部の中央を持ち、フライシートがセンターで2つ折りされるように地面に寝かせてください。

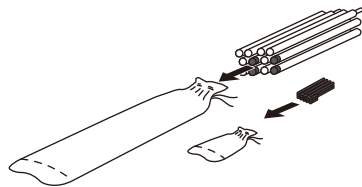


① 両端を中央に向かって内側に折ってください。

② さらに両端を中央に向かって内側に折ってください。

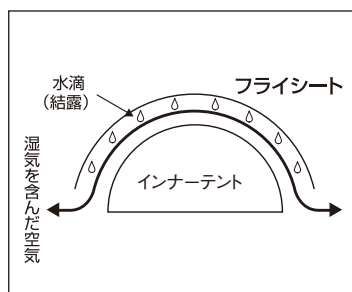
③ 縦に2つ折りして矢印の方向に巻いてください。

- ⑤ フレームとペグは付属のフレームケース、ペグケースに入れてキャリーバッグに収納してください。
ペグの抜き忘れ、回収のし忘れにご注意ください。
ペグは湾曲している頭から収納してください。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。



撥水・防水性能について

- フライシートの生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水性能が低下します。撥水性が衰えてきたときには、市販の撥水スプレー等を使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。
- この製品には、防水機能が強い素材を使用していますが、地面の水溜まりなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証ができなくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

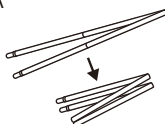
紫外線の影響について

- テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- この製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 製品表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を軽く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。(図A)
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるに従い剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。コーティングが一緒に剥離された場合、修理できない可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回の使用に備え、ベグなどの附属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。

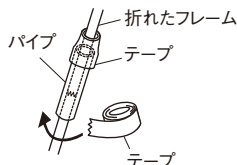
図A



応急処置

- 製品のフレームや生地は、不測の事態により破損する場合があるため、リペア用品（ガムテープ、ビニールテープ、添え木になるようなパイプなど）の補修材を携行し、速やかに応急処置を施してください。損傷したまま放置すると、さらに大きく破れたり、修理不能になる場合があります。
- 本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったときは、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせて損傷が広がらないようにするか、撤収してください。
- フレームが折れた場合は、添え木になるようなパイプをフレームにあて、テープで固定するか、テントを撤収してフレームを取り除いてください。（図B）

図B



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

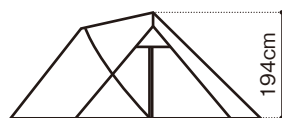
修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また、破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については次のように規定させていただきます。
- 1. 保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
- 2. 保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

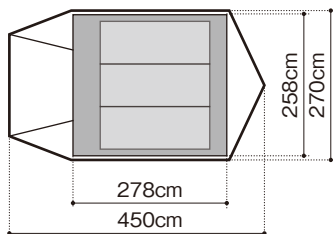
スペック

- 材質:フライシート／75Dシリコンポリエステルリップストップ・PUコーティング耐水压1,800mmミニマム、インナーテント(ウォール)／20Dポリエステルリップストップ・撥水加工、インナーテント(ボトム)／40Dナイロンリップストップ・PUコーティング耐水压1,800mmミニマム・撥水加工、フレーム／A6061 (φ16mm、φ13mm)
- セット内容:フライシート、インナーテント、Aフレーム(×2)、リッジポール(×1)、Cフレーム(×1)、アップライトポール(×2)、ジュラルミンベグ(17cm×20)、自在付ロープ(二又7m×2、3.5m×1、3m×2、2m×4)、シームシーリング剤、キャリーバッグ、フレームケース、ベグケース
- 収納サイズ:64×23×27(h)cm
- 重量:10.0kg

- 対応人数:3～5名



(室内高:186cm)



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660**(9:00～17:00)
ユーザーサービス Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM

Product Manual : Ver 1.01

SD-480P-IV-US

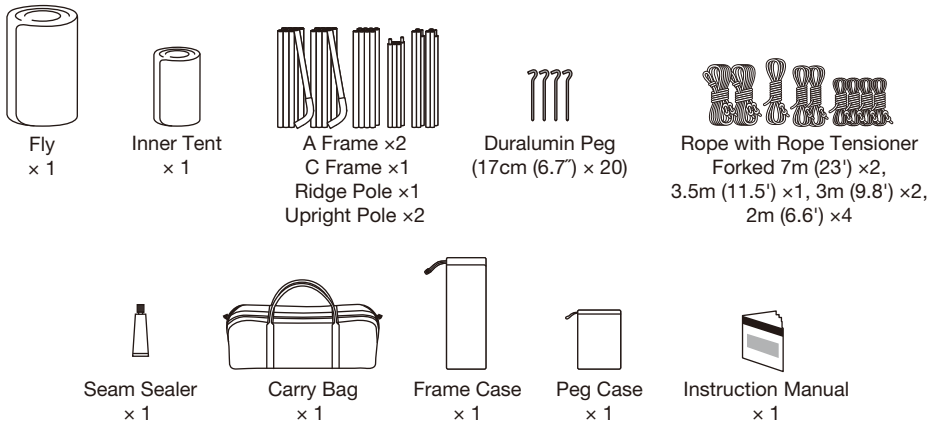
Alpha Breeze



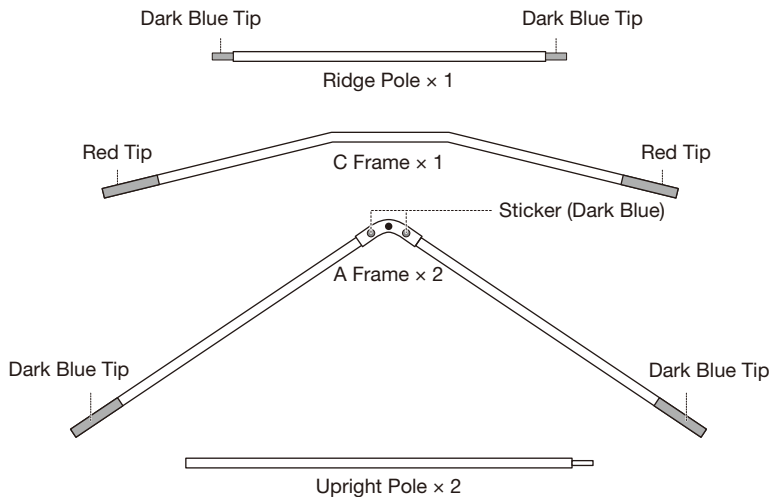
Thank you for purchasing this Snow Peak Product. This is a tent designed for camping. In order to ensure your safety when using this product, please read these instructions carefully before use. Please be sure to keep this document for future reference. Although this product is expected to be complete and safe, please check all accessory items and practice assembling and handling it in a safe location prior to use in the field. If you find anything in the instruction manual that is difficult to understand, or if you find any product defects, stop using it immediately and contact the dealer where you purchased the product, or Snow Peak Customer Service.

Contents

These parts are designed for set up in general conditions. To prepare for a variety of conditions, add stronger and longer pegs and ropes to your collection. Pegs, ropes, and tensioners may need to be replaced, so it is recommended that you always carry a spare.



Frame Contents



⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The tent material is not flame-proof. Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters or cigarettes, inside the tent. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is very dangerous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the tent.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring hot or heat-producing items into the tent. If the inside of the tent becomes very hot, heatstroke or fire may result.
- Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the tent.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose an area where there is no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.

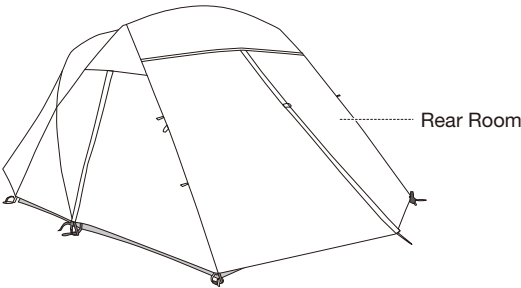
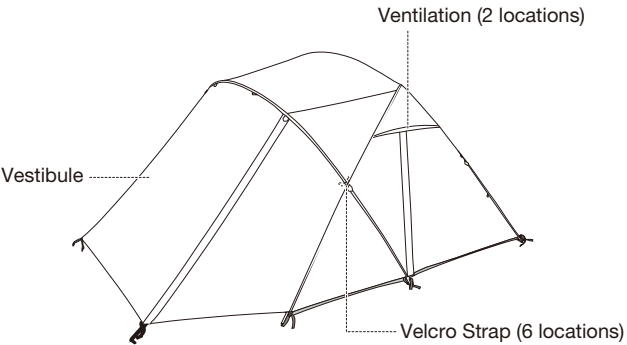


⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

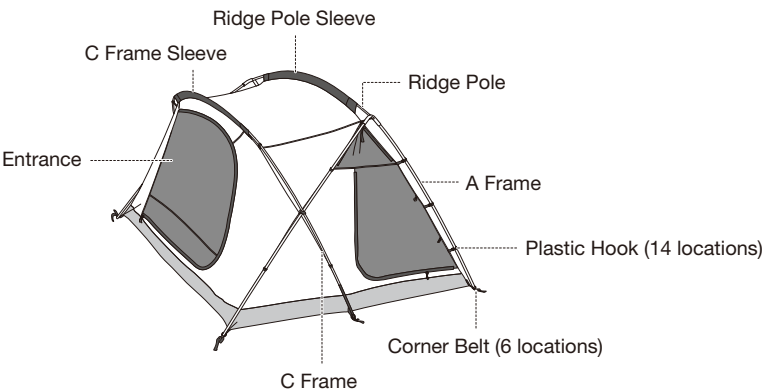
- This product is not intended to be in permanent use. If the tent is left in the sun for long periods, the materials may fade in color or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the tent set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the Fly to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the tent close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- Sap cannot be easily removed once it adheres to the tent fabric. Do not set up this product under trees that frequently drop sap.
The fabric or coating may be damaged if the sap is forcibly removed using an organic solvent such as a thinner, benzene, etc.
- When assembling and disassembling the tent, firmly hold the fabric and frame so that the tent does not get blown away if it is windy. Unexpected accidents may occur due to the Frame ends recoiling, etc., so verify the safety of the surroundings.
- Secure the tent using pegs and ropes.
- This product is made of a thin fabric, so it may break if you pull the fabric excessively.
- Please pay attention to the building tape, rope, pegs, etc. around your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an unexpected accident or injury.
- The inner tent has a loop for hanging small items. Please only hang items that weigh less than 1 kg (2.2 lbs).

Name of Parts

[Fly]

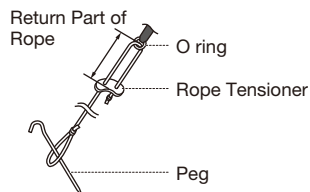
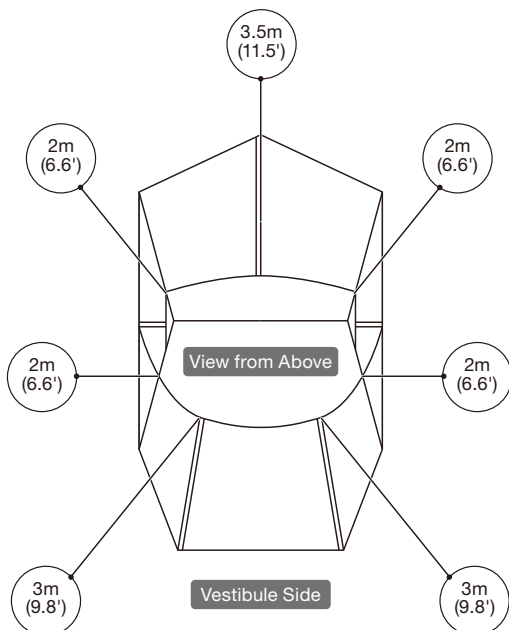


[Inner Tent]

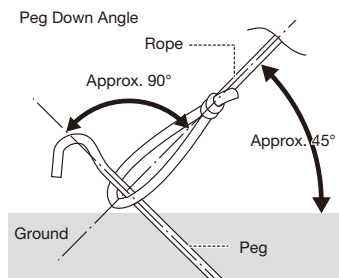


How to Attach Rope with Rope Tensioner to the Fly and Peg Down

Attach the Rope with Rope Tensioner to the Fly and peg it down as shown in the figure.



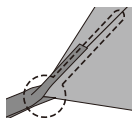
Attach as the return part with tensioner comes to the O ring side.



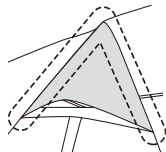
The ideal peg position is when the rope is angled 45 ° to the ground. Be sure to insert the pegs at a 90 ° angle to the rope.

Preparations Before Use

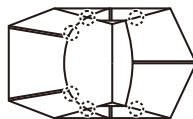
A waterproofing treatment with seam taping has been applied to the stitching of the tent. However, the ventilator and fasteners on the Fly and a part of the bottom sheet cannot be treated with the seam tape due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain, or prolonged contact with water pools on the ground, may result in the penetration of water along the stitching. In such cases, the application of a seam sealer is recommended. Apply the seam sealer lightly on both sides along the stitching and dry completely. The seam sealer will cure with time. As the seam sealer wears off, re-apply as necessary. If rainwater enters from locations other than those mentioned below, please seal such locations as necessary.



Please apply the seam sealer over the whole area of the bottom corner of the Tent. (6 locations)



Please apply the seam sealer to the outside and inside surface of the ventilator. (2 locations)



Outside of the Fly
Please apply the seam sealer on surface of the sewn part of the Velcro Tape. (6 locations)



Inside of the Fly
Please apply the seam sealer on both surface of the sewn part of the Velcro Tape. (6 locations)

Set-Up Procedure Make sure that two or more people take part in the set-up for safety.

Follow the setup and removal instructions below so that you will be prepared to use the tent at camp sites. Ensure that all the accessories are included in the package. Forcible installation or removal may damage the main unit and/or frames, or cause an accident. Please read the instructions thoroughly and be sure you fully understand them.

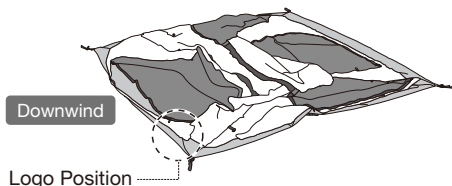
Make sure that the set of tent components is complete before going camping.

To help ensure safety, make sure that two or more people set up the tent.

- ① Spread out the Inner Tent so that the Bottom surface is spread evenly on the flat area.

* When it is windy, set up the tent so that the entrance side faces downwind.

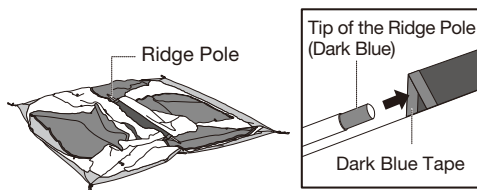
If the entrance faces windward, wind and rain may enter, or the Main Body could be blown away or damaged.



- ② Insert the Ridge Pole into the Sleeve with the dark blue tape located in the center of the Inner Tent.

* When inserting the Ridge Pole, please ensure the color of the tip of the Pole (dark blue) and the color of the Sleeve tape (dark blue) match.

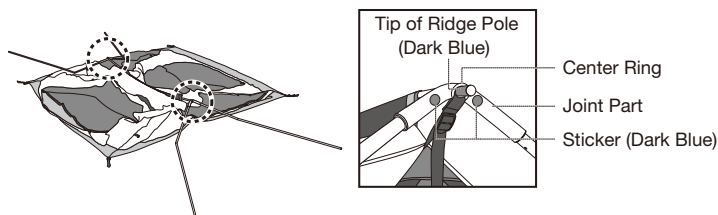
* When inserting the Pole, be sure to push it in. If you pull the Pole, the joint may disconnect, and the setup will be inadequate.



- ③ Assemble the A Frame to half its height and insert the tip of the Ridge Pole into the joint so that the dark blue sticker of the A Frame joint faces outward. Make sure the tip of the Ridge Pole is fully inserted into the joint and hook the Center Ring to the tip of the Ridge Pole.

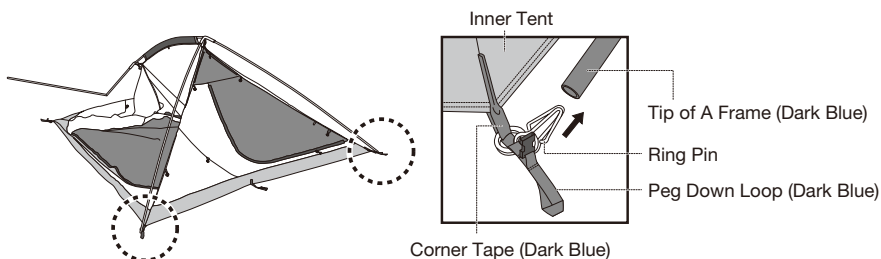
* Please do not lift the Frame higher than necessary. Also, if there is a strong wind, wait until the wind stops before setting up. There is a danger that the A Frame, the joint of A Frame, and the Ridge Pole will be damaged.

* When hooking the Center Ring to the Ridge Pole, be careful not to twist the belt with the Center Ring.



- ④ Assemble the A Frame on one side and insert the Ring Pin attached to the dark blue Corner Tape at the corner of the Inner Tent into both ends of the A Frame. Then, adjust the tension of the Center Ring tape.

- * When inserting the ring pin into the tip of A Frame, hold the tip of Frame firmly so that it does not move, and insert while being careful to avoid catching your fingers.
- * When inserting, please make sure that the color of the tip of the Frame (dark blue) matches the color of the corner tape (dark blue).
- * Be careful not to let the opposite side of the lifted A Frame recoil and hit nearby people or objects.

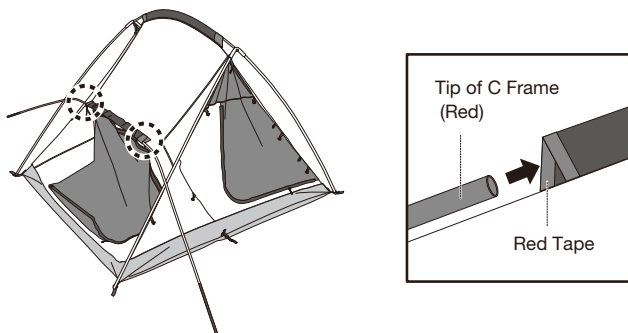


- ⑤ In the same way as ④, insert the Ring Pins into both ends of the A Frame on the opposite side and adjust the tension by pulling the belt of the Center Ring.



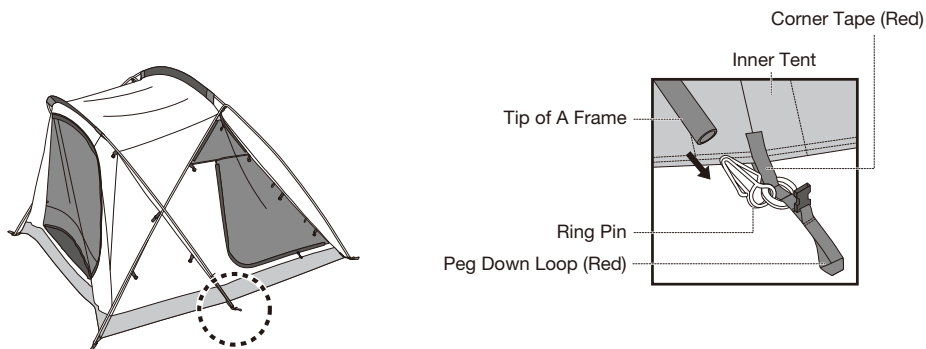
- ⑥ Assemble the C Frame and push it into the Sleeve with the red tape until the center of the C Frame and the Sleeve are aligned. At the intersection of A Frame and C Frame, ensure the C Frame is on the outside.

- * When inserting, please ensure the color of the tip of the Frame (red) matches the color of the Sleeve tape (red).
- * When inserting the Frame, be sure to push it in. If you pull the Frame, the joint may come off and the setup will be inadequate.

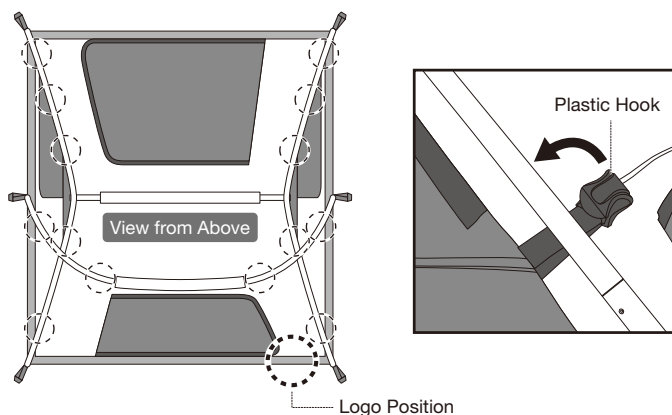


- 7 Insert the Ring Pins that are attached to the red Corner Tape on the Bottom of the Inner Tent into both ends of the C Frame.

* When inserting, please ensure the color of the tip of the Frame (red) matches the color of the Corner Tape (red).

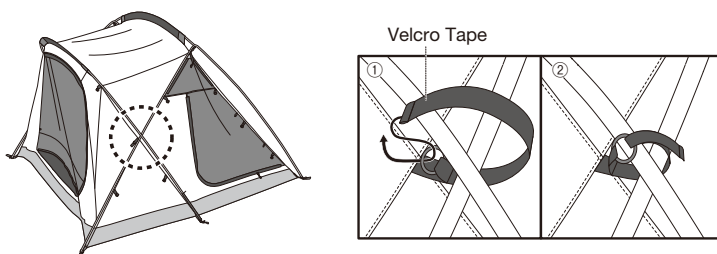


- 8 Please connect the Plastic Hook on the Inner Tent to each Frame. (14 locations)

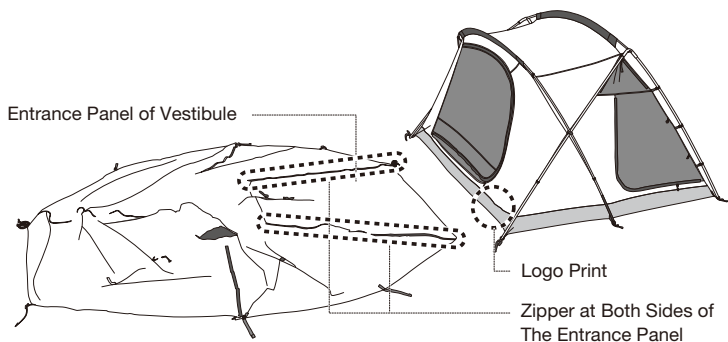


- 9 Wrap the Velcro Tape at the intersection of Frame A and Frame C around the Frames, as shown in the figure. (2 locations)

* Please wrap the Velcro Tape without twisting it.

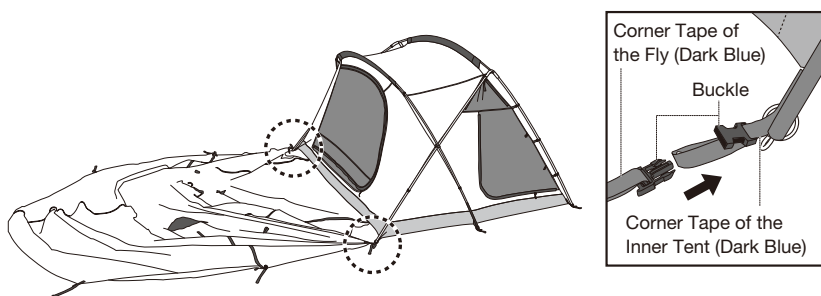


- ⑩ Spread the Fly in front of the Inner Tent so that the back of the Fly (the side without the logo printed on it) faces up. Then, align the Fly Entrance Panel with the panel that has the Inner Tent logo printed on it.

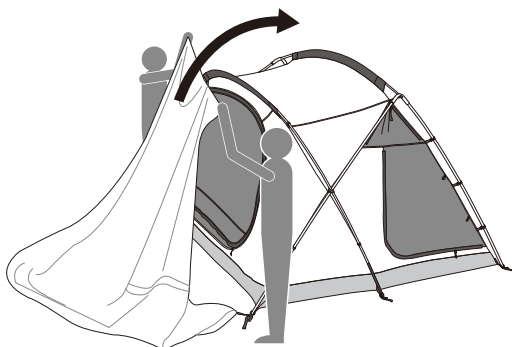


- ⑪ Connect the buckle at the tip of the dark blue Corner Tape of the Fly and the Inner Tent.

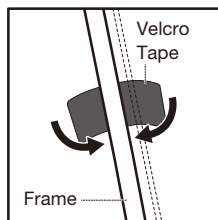
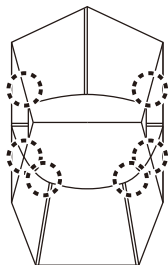
* Be careful not to twist the Corner Tape.



- ⑫ Stand on both sides of the Fly with 2 people and hold the corner farthest from Inner Tent on the Fly, and then put the Fly over Inner Tent. Then, adjust the position of the Inner Tent so that the Fly and the Fly panels match.

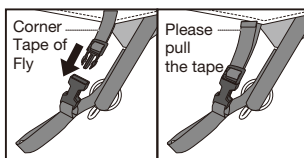
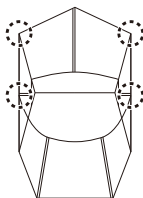


- 13** Secure the Fly by winding the slip prevention Velcro Tape inside the Fly around the Frames. (6 locations)



- 14** Connect the buckle at the tip of each Corner Tape of the Inner Tent and the Fly (4 locations). After connecting, pull the adjusting tape on all the buckles.

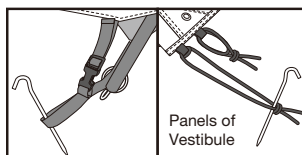
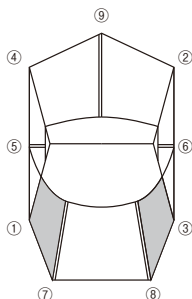
* When connecting, please ensure the color of each Corner Tape matches, and that Corner Tape is not twisted.



- 15** Insert the Peg into the Peg Down Loop at each corner and peg down in the order shown below while pulling outward. For areas ⑦ and ⑧, pull the tip of the Vestibule and insert a Peg into the rubber loop attached to the Vestibule (grey area) to secure it.

* If the Vestibule is pulled too much, the zipper will not close and it may be damaged. Please be careful not to pull too much.

* Please peg down with all the zippers closed, otherwise it may be difficult to close the door panel.

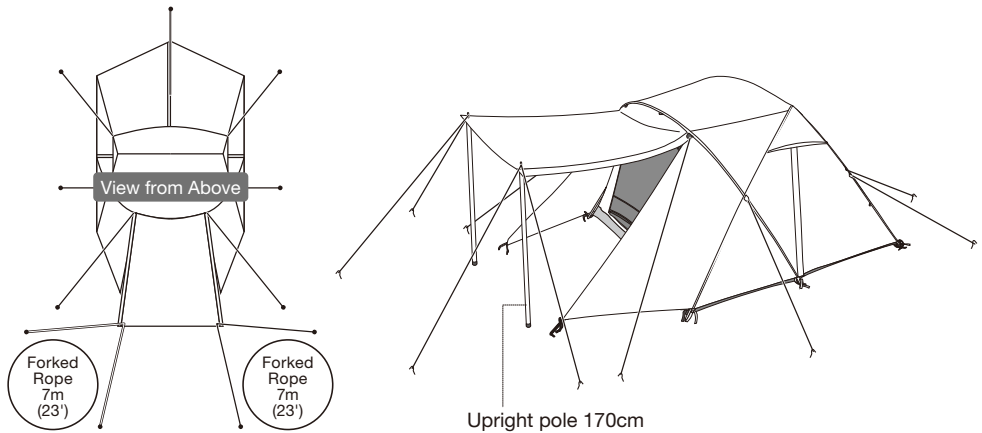


- 16** As shown in "How to Attach Rope with Rope Tensioner to the Fly and Peg Down" on page 20, attach each Rope with Rope Tensioner to the Fly, then pull it, secure it with the Peg and apply tension as needed.

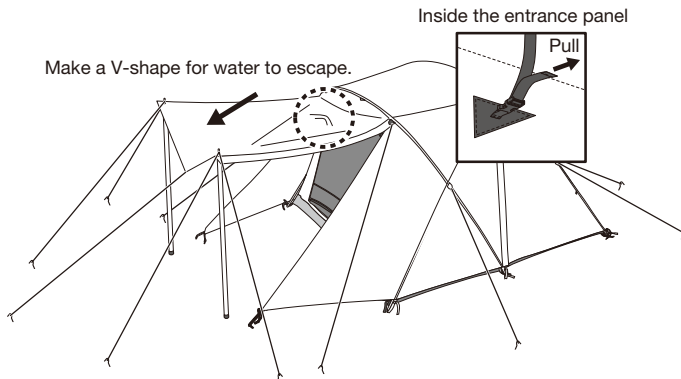
* If the rope is pulled too much, the Fly will be over-burdened and there is a risk of damage. Please be careful not to pull too much.

How to set up the door panel

When using the Door Panel for extended shelter, insert the tip of the upright Pole into the Grommet at the end of the Door Panel, hook the center loop of the Forked Rope, and peg down as shown in the figure.



To prevent water accumulation in rainy weather, pass a rope through the Grommet attached to the center of the Door Panel, peg down the Rope, and lower the panel in a V-shape.



How to disassemble

Disassembling should be done in the reverse order of setup. Make sure there is nothing inside the Inner Tent or Fly before beginning. It will be easier to roll up the tent if you slightly open the zipper at the entrance of the Inner Tent.

- 1 Remove all the Pegs from the ground and gather all the Ropes with Rope tensioners.

* If the wind is strong, please do not remove the Pegs of the Tent Bottom on the windward side.



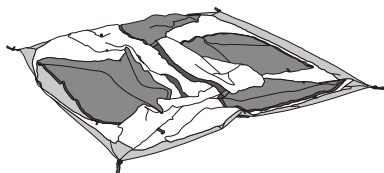
- 2 Remove the Corner Tape buckle and the Velcro Tape inside the Fly, then remove the Fly from the Inner Tent.



- 3 After removing all the Plastic Hooks and Velcro Tape attached to Frame, remove the Frames from the Inner Tent in this order: C Frame, A Frame, and Ridge Pole. If you have any Inner Tent pegs left, please remove them all at this time.

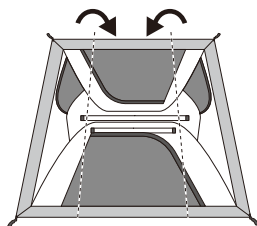
* When removing the Pole from the Ring Pin, be sure to hold the Pole firmly. The Pole may recoil, and it is very dangerous.

* When removing the Pole from the Sleeve, make sure to check the surrounding area before pushing out.

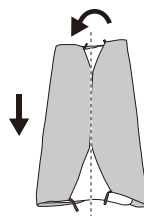


- ④ Fold the Fly and Inner Tent to fit the width of the Carry Bag as shown in the figure.

•How to fold the Inner Tent



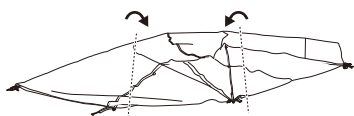
① Fold both ends inward toward the center.



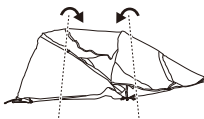
② Fold the Fly in half and roll it in the direction of the arrow.

•How to fold the Fly

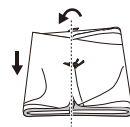
Hold the Vestibule with 2 people, and let the Fly lay on the ground, so the center of the upper part of the Entrance Panel and the center of the upper part of the rear Entrance Panel are folded in half. Two people should grab the Fly, one should hold the center of the upper part of the Vestibule Entrance Panel, and the other should hold the center of the upper part of the rear room Entrance Panel, and then lay it on the ground, so that the Fly is folded in half at the center.



① Fold both ends inward toward the center.



② Then repeat and fold both ends inward toward the center again.



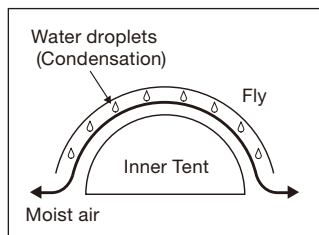
③ Fold it in half vertically and roll in the direction of the arrow.

- ⑤ Put the Frames and Pegs in the included cases and store them in the Carry Bag. Please be careful not to leave any Pegs behind. Please store the Pegs with the bent head facing down.



Regarding Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent, the concentration of water vapor is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Additionally, water accounts for 60 percent of the human body and is released through breathing and perspiration. This also causes the amount of water vapor in the tent to increase, resulting in more condensation. Inside the tent, condensation can commonly be found on materials that have are highly waterproof, such as the Fly or the Bottom Sheet. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with the use of waterproof materials. To reduce condensation, it is recommended that you allow steady ventilation while the tent is in use.



Water-Repellent and Waterproof Functions

- The fabric of the Fly is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellency and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. In addition, the water repellency will deteriorate after long periods. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Materials with high waterproof capacity are used in this product. However, if the materials are in contact with pools of water on the ground for long periods, the water may be absorbed into the material.
- The coating may also be damaged by agricultural chemicals which cause an abnormal decrease in waterproof capabilities. Please note that the product cannot be covered under warranty if this is the cause of damage.
- The logo may peel off as a side-effect of using the water-repellent treatment.

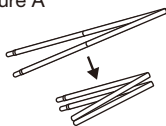
Regarding the Effect of Ultraviolet Rays

- When the tent material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & Storage

- A combination of Polyester fabric is used for this product. Taking the material characteristics into consideration, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration, and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the Frames before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant; applying an excessive amount of lubricant will stain the cloth. Ensure that the cords inside the Frames are not pulled unnecessarily.
- When storing the Frames, please fold them from the center outwards. (Figure A)
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Do not apply excessive amounts of lubricant as it will leave stains on the cloth.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. If the coating is peeled off completely, it may be impossible to repair.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If the sap is forcibly removed with a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain the product (including all accessories such as the pegs).
- When using a product that has not been used for a long period of time, inspect the product and check that no parts have any abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repairs.

Figure A

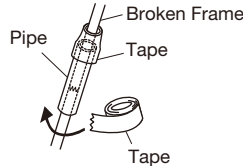


First Aid Solutions

As the Frame or the fabric of the product may be damaged due to unforeseen circumstances, always carry repair materials such as packing tape, vinyl tape, or a pipe that can be used as a splint. Always start repairs as soon as possible. If left damaged, the product may require extensive repairs or become impossible to fix.

- If the main fabric tears or has a hole, prevent the damage from spreading by attaching packing tape to the front and back of the damaged part of the main fabric, or disassemble the tent.
- If the Frame breaks, place a pipe to be used as a splint, on the Frame and attach it with tape. Or, disassemble the tent and pull out the Frame.(Figure B)

Figure B



Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Material deterioration caused by age
2. Damage caused by modifications or rough handling
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks
9. Deterioration or failure of parts due to friction
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

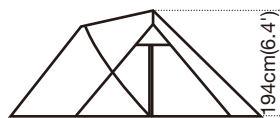
- Material: Fly Sheet / 75D Silicon Polyester Ripstop, PU coating Waterproof rating: 1,800mm minimum, Inner Tent (Wall) / 20D Polyester Ripstop, Water repellent finish, Inner Tent (Bottom) / 40D Nylon Ripstop, PU coating Waterproof rating: 1,800mm minimum, Water repellent finish, Frame / A6061 (dia16mm / 0.6", dia13mm / 0.5")

- Contents: Fly Sheet, Inner Tent, A Frame (x2), Ridge Pole (x1), C Frame (x1), Upright Pole (x2), Duralumin Pegs (17cm/6.7"x20), Rope with a rope tensioner (2m/6.6'x4, 3m/9.8'x2, 3.5m/11.5'x1, 7m / 23' forked end rope x2), Seam Sealant, Carry Bag, Frame Case, Peg Case

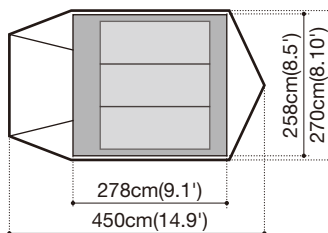
- Storage Size: 64x23x27(h)cm / 25.2"x9.1"x10.6"(h)

- Weight: 10.0kg (22.0 lbs)

- Capacity: 3-5 persons



(Indoor height 186cm (6.1'))



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
 Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
 Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
 Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
 www.snowpeak.co.jp

MADE IN VIETNAM

Manuel du produit : Ver. 1.01

SD-480P-IV-US

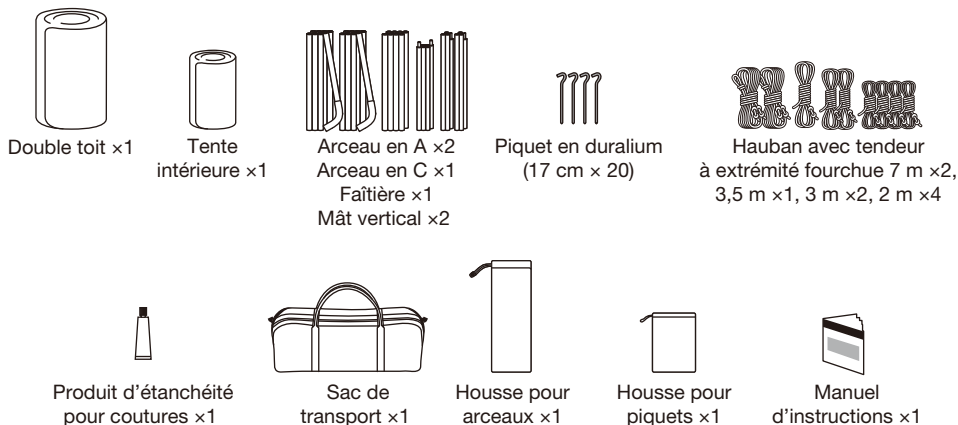
Alpha Breeze



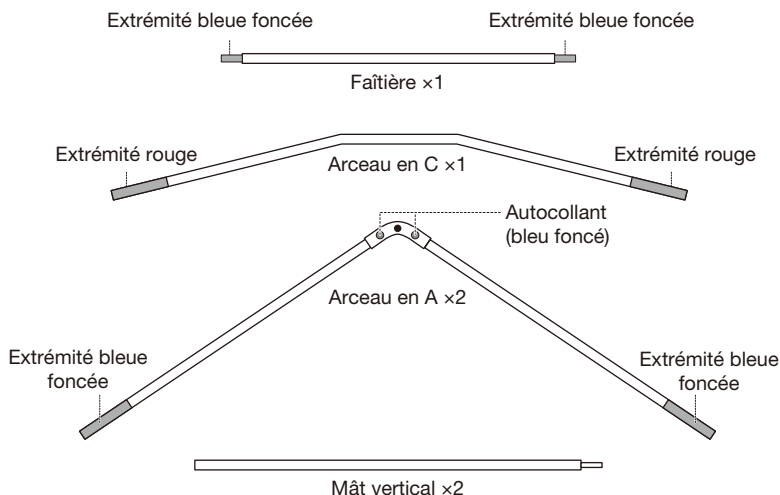
Merci d'avoir acheté ce produit Snow Peak. Cette tente est conçue pour le camping. Afin de garantir votre sécurité lors de l'utilisation de ce produit, veuillez lire attentivement ces instructions avant toute utilisation. Veuillez à conserver ce document pour référence ultérieure. Bien que ce produit soit censé être complet et sûr, veuillez vérifier tous les accessoires et vous entraîner à l'assembler et à le manipuler dans un endroit sûr avant de l'utiliser en extérieur. Si vous rencontrez des difficultés de compréhension dans le manuel d'instructions ou constatez des défauts de produit, cessez immédiatement de l'utiliser et contactez le revendeur auprès duquel vous avez acheté le produit ou le service client de Snow Peak.

Contenu

Ces pièces sont conçues pour être montées dans des conditions standard. Pour faire face à des conditions variées, il est recommandé d'ajouter à votre équipement des piquets et des haubans plus robustes et plus longs. Il peut être nécessaire de remplacer les piquets, haubans et tendeurs ; il est donc conseillé de toujours avoir des pièces de rechange.



Contenu des arceaux



⚠ DANGER Une mauvaise utilisation peut entraîner un accident grave ou mortel.

- Le matériau de la tente n'est pas ignifuge. N'utilisez pas de sources de chaleur à combustion (lanternes, réchauds, chauffages) ou de flammes nues (allumettes, bougies, briquets, cigarettes) à l'intérieur de la tente. Utiliser de telles sources de chaleur ou de lumière dans un espace confiné est extrêmement dangereux et peut provoquer un incendie, une asphyxie par manque d'oxygène ou une intoxication au monoxyde de carbone.
- Ne stockez ni carburant ni objets inflammables destinés à faire l'appoint de carburant à l'intérieur de la tente.



⚠ AVERTISSEMENT Une mauvaise utilisation peut entraîner des blessures graves, voire mortelles.

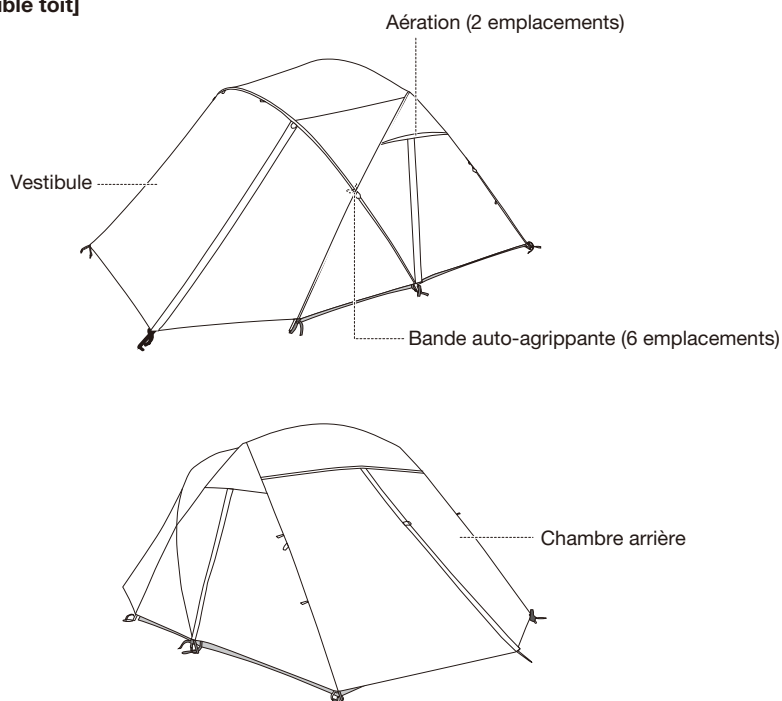
- Avant d'utiliser le produit, vérifiez l'absence d'anomalies sur chaque pièce. En cas d'anomalies, confiez le produit au revendeur ou au service client de Snow Peak pour inspection ou réparation.
- Prêtez attention aux conditions météorologiques. En cas de conditions météorologiques extrêmes, démontez la tente et évacuez vers un lieu sûr.
- N'introduisez pas d'objets chauds ou produisant de la chaleur à l'intérieur de la tente. Si l'intérieur de la tente atteint une température élevée, un coup de chaleur ou un incendie peut survenir.
- À l'intérieur de la tente, des températures très élevées peuvent provoquer des coups de chaleur. Prêtez une grande attention à la température, en particulier lorsque des enfants dorment à l'intérieur de la tente.
- Privilégiez un terrain plat et bien drainé, avec un sol ferme, pour monter la tente. Choisissez une zone sans risque d'avalanches, de glissements de terrain, de rafales de vent ou d'inondations soudaines.



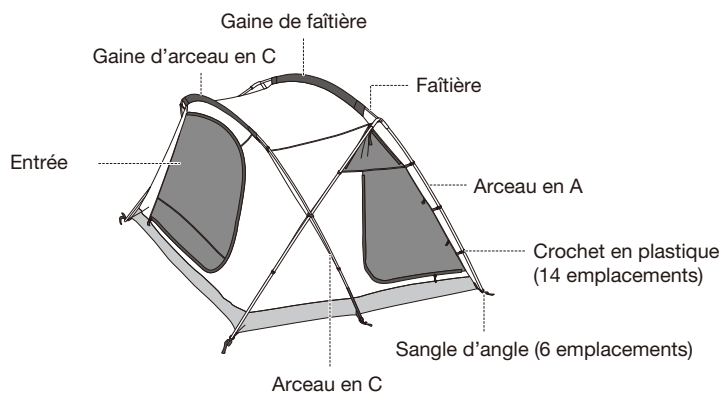
⚠ ATTENTION Une mauvaise utilisation peut entraîner des blessures à l'utilisateur et/ou des dommages matériels.

- Ce produit n'est pas conçu pour un usage permanent. L'exposition prolongée de la tente au soleil peut entraîner une décoloration des matériaux ou une dégradation du tissu et de sa solidité. Ne laissez pas la tente montée de façon permanente.
- La lumière du soleil peut chauffer la surface du double toit, ce qui peut entraîner des brûlures à basse température.
- Ne montez pas ou n'utilisez pas la tente à proximité d'un feu de camp, de feux d'artifice, etc. Des étincelles peuvent perforer le tissu.
- La sève est difficile à retirer une fois fixée sur le tissu de la tente. N'installez pas ce produit sous des arbres qui produisent fréquemment de la sève. Le tissu ou le revêtement peut être endommagé si la sève est retirée de force en utilisant un solvant organique tel qu'un diluant, de la benzine, etc.
- Lors du montage ou du démontage de la tente, tenez fermement le tissu et l'armature pour éviter que la tente ne s'envole en cas de vent. Des accidents peuvent survenir si les extrémités des arceaux, etc., se détendent brusquement. Vérifiez donc la sécurité des alentours.
- Fixez la tente à l'aide de piquets et de haubans.
- Ce produit est fabriqué en tissu fin, il peut donc se déchirer si vous tirez excessivement sur le tissu.
- Faites attention aux bandes de montage, aux haubans, aux piquets, etc., autour de vos pieds. Si vous ne faites pas attention, vous risquez de trébucher et de tomber, ce qui peut entraîner un accident ou des blessures.
- La tente intérieure est équipée d'une boucle pour suspendre de petits objets. Veuillez suspendre uniquement des objets dont le poids est inférieur à 1 kg.

[Double toit]

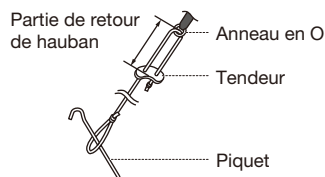
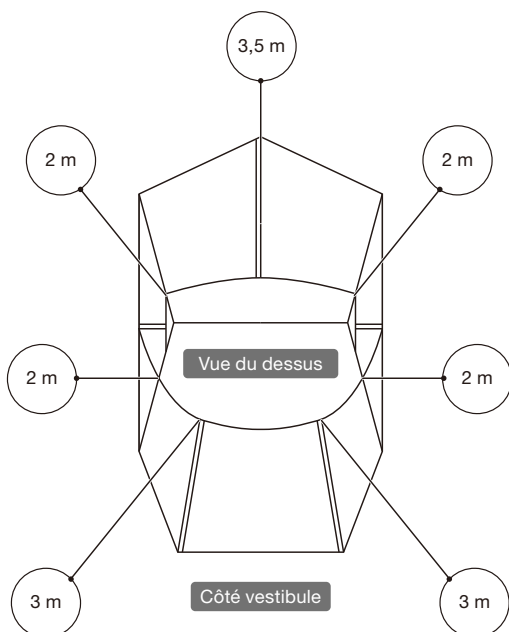


[Tente intérieure]

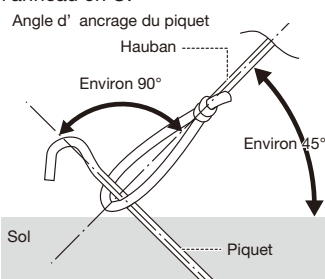


Fixation du hauban avec tendeur au double toit et ancrage au sol

Fixez le hauban au double toit avec le tendeur et ancrez-le dans le sol avec un piquet, comme illustré.



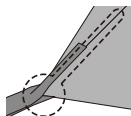
Fixez de façon à ce que la partie de retour avec le tendeur soit du côté de l'anneau en O.



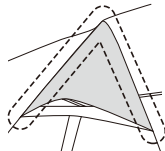
La position idéale du piquet est lorsque le hauban forme un angle de 45° avec le sol. Veuillez à enfoncer les piquets à un angle de 90° par rapport au hauban.

Préparatifs avant utilisation

Un traitement d'imperméabilisation par ruban adhésif d'étanchéité pour coutures a été appliqué sur les coutures de la tente. Cependant, les aérations, les attaches du double toit et une partie du tapis de sol ne peuvent pas être traités avec ce ruban adhésif d'étanchéité pour coutures en raison de leur conception. Bien que la tente soit efficace sous une pluie normale, de longues périodes de fortes pluies ou la présence d'eau stagnante sous la tente peuvent entraîner des infiltrations d'eau le long des coutures. Dans ce cas, il est recommandé d'appliquer un produit d'étanchéité pour coutures. Appliquez légèrement le produit d'étanchéité pour coutures sur les deux faces des coutures, puis laissez sécher complètement. Le produit d'étanchéité pour coutures durcit avec le temps. Lorsque le produit d'étanchéité pour coutures s'use, renouvelez l'application si nécessaire. Si de l'eau de pluie s'infiltré par d'autres endroits que ceux mentionnés ci-dessous, étanchéifiez également ces zones.



Veuillez appliquer le produit d'étanchéité pour coutures sur toute la zone de chaque coin inférieur de la tente. (6 emplacements)



Veuillez appliquer le produit d'étanchéité pour coutures sur la surface extérieure et intérieure des aérations. (2 emplacements)



À l'extérieur du double toit
Veuillez appliquer le produit d'étanchéité pour coutures sur la surface de la partie cousue de la bande auto-agrippante. (6 emplacements)



À l'intérieur du double toit
Veuillez appliquer le produit d'étanchéité pour coutures sur les deux surfaces de la partie cousue de la bande auto-agrippante. (6 emplacements)

Veillez suivre les instructions de montage et de démontage ci-dessous afin d'être prêt à utiliser la tente sur les sites de camping. Assurez-vous que tous les accessoires sont inclus dans l'emballage. Une installation ou un démontage forcé peut endommager l'unité principale ou son armature, ou provoquer un accident. Veuillez lire attentivement les instructions et vous assurer de les comprendre parfaitement.

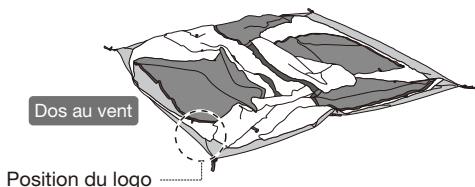
Assurez-vous que l'ensemble des composants de la tente est complet avant de partir camper.

Pour garantir la sécurité, assurez-vous que deux personnes ou plus montent la tente.

- 1** Dépliez la tente intérieure de façon à ce que le tapis de sol soit bien étalé sur un terrain plat.

* En cas de vent, installez la tente de manière à ce que l'entrée soit orientée dos au vent.

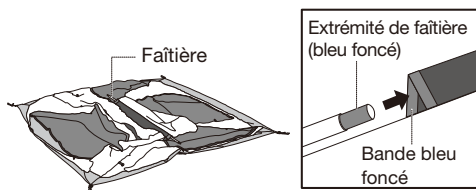
Si l'entrée fait face au vent, ce dernier et de la pluie peuvent pénétrer dans la tente ou la structure principale peut être emportée par le vent ou endommagée.



- 2** Insérez la faîtière dans la gaine marquée de la bande bleu foncé, située au centre de la tente intérieure.

* Lors de l'insertion de la faîtière, assurez-vous que la couleur de l'extrémité de la faîtière (bleu foncé) correspond à celle de la bande de la gaine (bleu foncé).

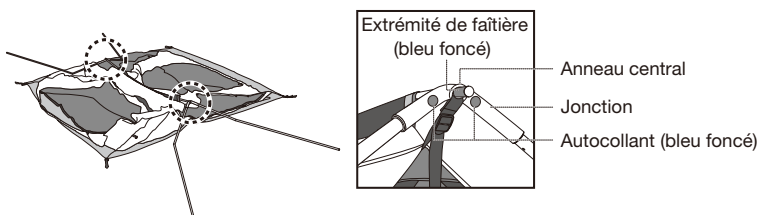
* Lors de l'insertion de la faîtière, assurez-vous de l'enfoncer. Si vous tirez la faîtière, les jonctions risquent de se déboîter et le montage sera instable.



- 3** Montez l'arceau en A à mi-hauteur et insérez l'extrémité de la faîtière dans la jonction prévue, de sorte que l'autocollant bleu foncé de la jonction de l'arceau en A soit tourné vers l'extérieur. Assurez-vous que l'extrémité de la faîtière est complètement insérée dans la jonction et accrochez l'anneau central à l'extrémité de la faîtière.

* Ne soulevez pas l'arceau plus que nécessaire. En cas de vent fort, attendez que le vent tombe avant de poursuivre le montage. Il existe un risque que l'arceau en A, la jonction de l'arceau en A et la faîtière soient endommagés.

* Lors de l'accrochage de l'anneau central à la faîtière, veillez à ne pas tordre la sangle avec l'anneau central.

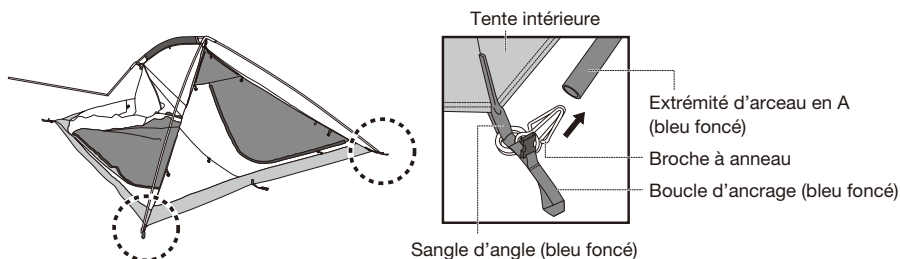


- ④ Montez l'arceau en A d'un côté et insérez la broche à anneau fixée à la sangle d'angle bleu foncé dans chaque extrémité de l'arceau en A, aux coins de la tente intérieure. Ajustez ensuite la tension de la sangle de l'anneau central.

* Lors de l'insertion de la broche à anneau dans l'extrémité de l'arceau en A, maintenez fermement l'extrémité de l'arceau pour éviter qu'il ne bouge, et insérez-la avec précaution pour ne pas vous pincer les doigts.

* Lors de l'insertion, assurez-vous que la couleur de l'extrémité de l'arceau (bleu foncé) correspond à celle de la sangle d'angle (bleu foncé).

* Faites attention à ce que le côté opposé de l'arceau en A, une fois soulevé, ne se détende pas brusquement et ne blesse personne ou n'endommage d'objets à proximité.



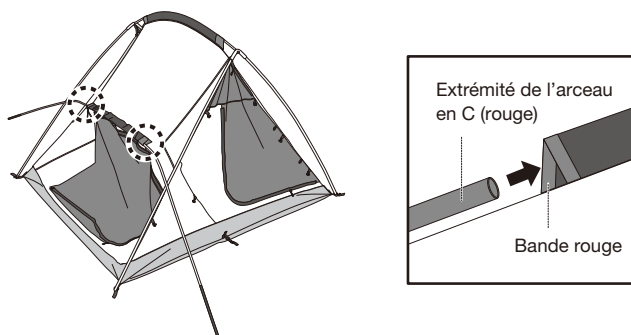
- ⑤ De la même manière que pour l'étape ④, insérez les broches à anneau dans les deux extrémités de l'arceau en A du côté opposé, puis ajustez la tension en tirant sur la sangle de l'anneau central.



- ⑥ Montez l'arceau en C et enfoncez-le dans la gaine marquée de la bande rouge jusqu'à ce que le centre de l'arceau en C et celui de la gaine soient alignés. Au croisement entre l'arceau en A et l'arceau en C, veillez à ce que l'arceau en C soit à l'extérieur.

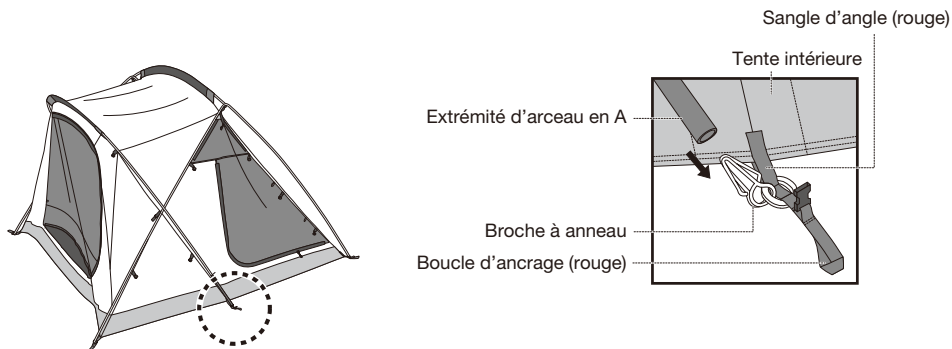
* Lors de l'insertion, assurez-vous que la couleur de l'extrémité de l'arceau (rouge) correspond à celle de la bande de la gaine (rouge).

* Lors de l'insertion de l'arceau, assurez-vous de l'enfoncer. Si vous tirez l'arceau, les jonctions risquent de se déboîter et le montage sera instable.

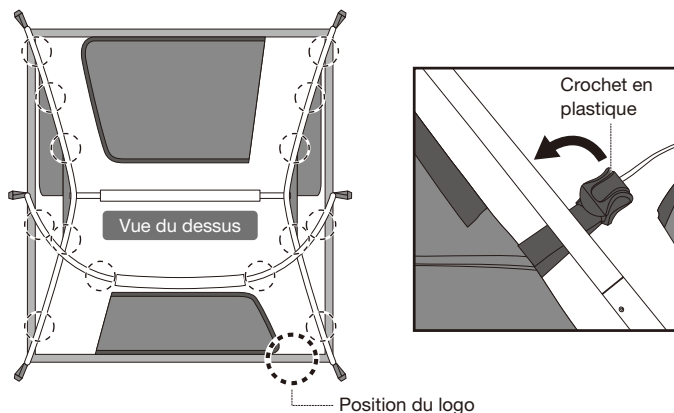


- 7 Insérez les broches à anneau, fixées à la sangle d'angle rouge située au niveau du sol de la tente intérieure, dans chaque extrémité de l'arceau en C.

* Lors de l'insertion, assurez-vous que la couleur de l'extrémité de l'arceau (rouge) correspond à celle de la sangle d'angle (rouge).

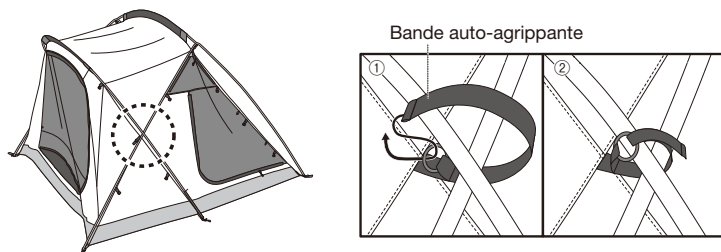


- 8 Veuillez fixer chaque crochet en plastique de la tente intérieure à chaque arceau. (14 emplacements)

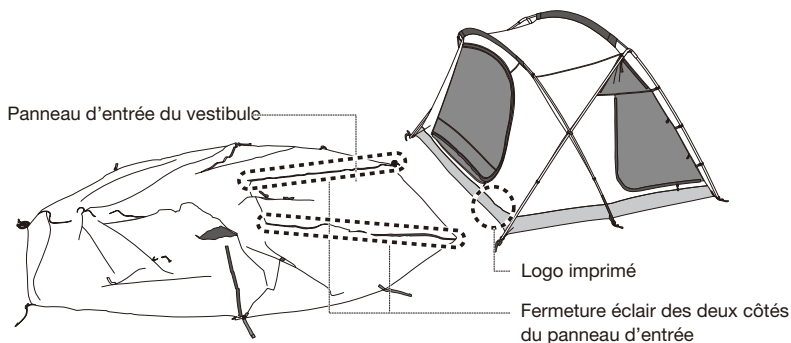


- 9 Enroulez la bande auto-agrippante à l'intersection des arceaux en A et en C autour des arceaux, comme illustré. (2 emplacements)

* Veuillez enrouler la bande auto-agrippante sans la tordre.

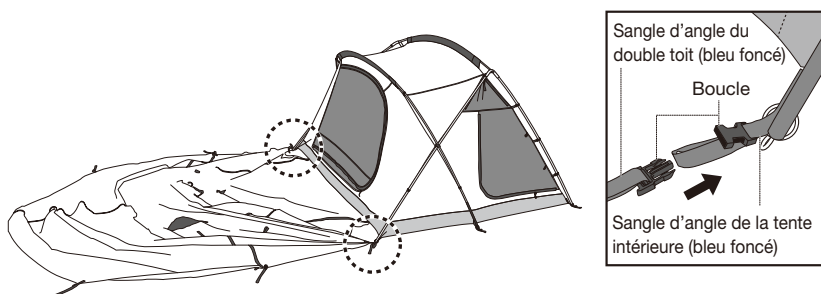


- ⑩ Dépliez le double toit devant la tente intérieure de façon à ce que le dos du double toit (le côté sans le logo) soit orienté vers le haut. Alignez ensuite le panneau d'entrée du double toit avec le panneau de la tente intérieure portant le logo.



- ⑪ Fixez la boucle située à l'extrémité de la sangle d'angle bleu foncé du double toit à la tente intérieure.

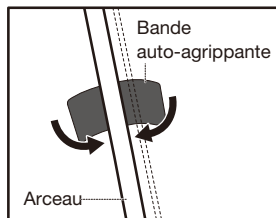
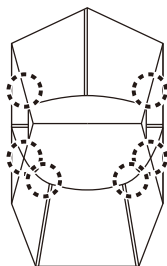
* Veillez à ne pas tordre la sangle d'angle.



- ⑫ Placez-vous à 2 personnes de chaque côté du double toit, saisissez le coin le plus éloigné de la tente intérieure sur le double toit, puis placez le double toit par-dessus la tente intérieure. Ajustez ensuite la position de la tente intérieure de manière à ce que le double toit et les panneaux du double toit soient alignés.

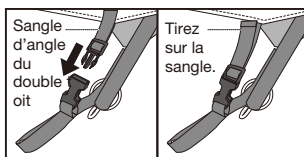
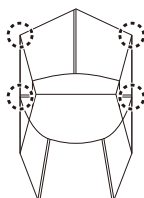


- 13** Fixez le double toit en enroulant la bande auto-agrippante antidérapante à l'intérieur du double toit autour des arceaux. (6 emplacements)



- 14** Fixez la boucle à l'extrémité de chaque sangle d'angle de la tente intérieure et du double toit (4 emplacements). Après la fixation, tirez sur la sangle de réglage de chaque boucle.

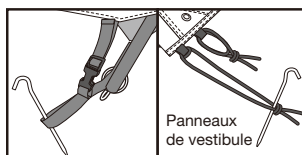
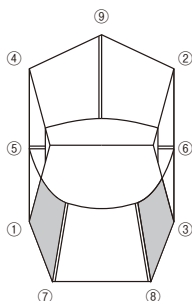
* Lors de la fixation, assurez-vous que la couleur de chaque sangle d'angle correspond et que la sangle d'angle n'est pas tordue.



- 15** Insérez le piquet dans la boucle d'ancrage à chaque coin et ancrez au sol dans l'ordre indiqué sur le schéma, en tirant vers l'extérieur. Pour les zones ⑦ et ⑧, tirez sur l'extrémité du vestibule et insérez un piquet dans la boucle en caoutchouc fixée au vestibule (zone grisée) pour le maintenir en place.

* Si le vestibule est trop tendu, la fermeture éclair risque de ne pas se fermer et pourrait être endommagée. Veillez à ne pas tirer trop fort.

* Veuillez planter les piquets avec toutes les fermetures éclair fermées, sinon il pourrait être difficile de fermer le panneau de porte.

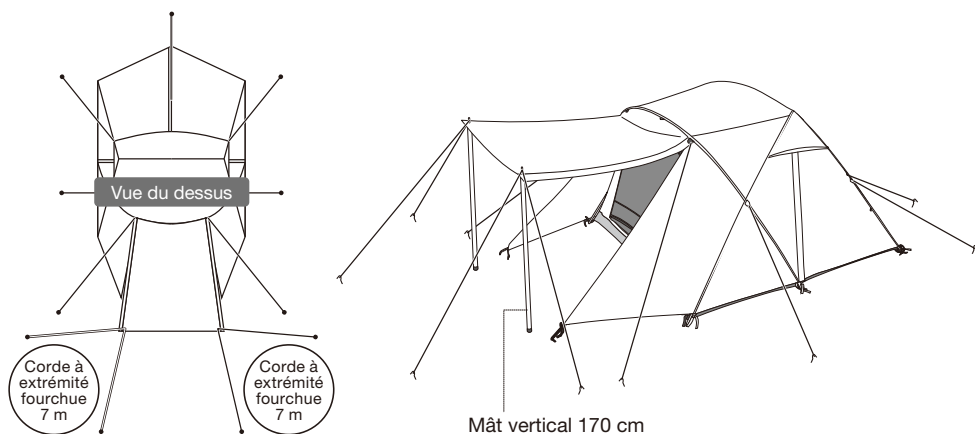


- 16** Comme indiqué dans « Fixation du hauban avec tendeur au double toit et ancrage au sol » à la page 36, attachez chaque hauban muni d'un tendeur au double toit, tendez-le, fixez-le avec un piquet et ajustez la tension si nécessaire.

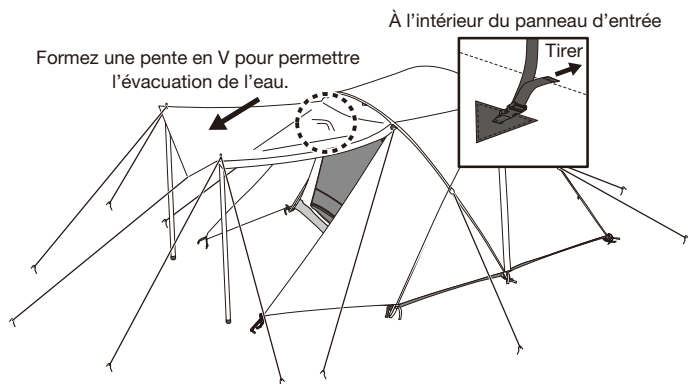
* Si le hauban est trop tendu, le double toit sera trop sollicité et risque d'être endommagé. Veillez à ne pas tirer trop fort.

Montage du panneau de porte

Lorsque vous utilisez le panneau de porte pour créer un abri supplémentaire, insérez la pointe du mât vertical dans l'œillet situé à l'extrémité du panneau de porte, accrochez la boucle centrale de la corde à extrémité fourchue, puis ancrez au sol à l'aide de piquets, comme illustré.



Pour éviter l'accumulation d'eau lors de fortes pluies, passez un hauban dans l'œillet fixé au centre du panneau de porte, ancrez le hauban au sol et abaissez le panneau de façon à former une pente en V.



Démontage

Le démontage doit s'effectuer dans l'ordre inverse du montage. Assurez-vous qu'il ne reste rien à l'intérieur de la tente intérieure ou du double toit avant de commencer. Il sera plus facile d'enrouler la tente si vous ouvrez légèrement la fermeture éclair à l'entrée de la tente intérieure.

- 1 Retirez tous les piquets du sol et rassemblez tous les haubans avec tendeurs.

* Si le vent souffle fort, ne retirez pas les piquets du sol de la tente du côté exposé au vent.



- 2 Détachez la boucle de la sangle d'angle et la bande auto-agrippante à l'intérieur du double toit, puis retirez le double toit de la tente intérieure.

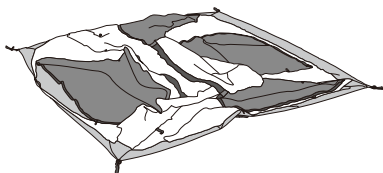


- 3 Après avoir retiré tous les crochets en plastique et les bandes auto-agrippantes fixés à l'armature, démontez les arceaux de la tente intérieure dans cet ordre: arceau en C, arceau en A et faîtière. S'il y a encore des piquets pour la tente intérieure, retirez-les à ce moment.

* Lors du retrait de la faîtière de la broche à anneau, tenez fermement la faîtière.

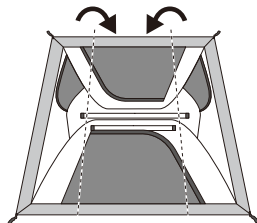
La faîtière peut se détendre brusquement, ce qui est très dangereux.

* Lors du retrait de la faîtière de la gaine, vérifiez la zone environnante avant de l'extraire.

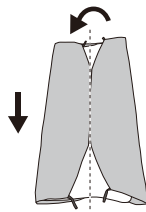


- ④ Pliez le double toit et la tente intérieure pour qu'ils correspondent à la largeur du sac de transport, comme illustré.

•Pliage de la tente intérieure



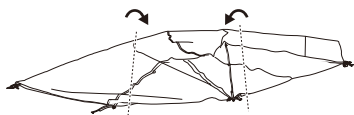
- ① Pliez les deux extrémités vers l'intérieur, vers le centre.



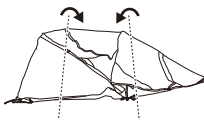
- ② Pliez le double toit en deux et enroulez-le dans le sens de la flèche.

•Pliage du double toit

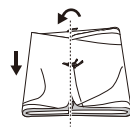
Tenez le vestibule à 2 personnes et posez le double toit au sol, de sorte que le centre de la partie supérieure du panneau d'entrée et le centre de la partie supérieure du panneau d'entrée arrière soient pliés en deux. Deux personnes doivent saisir le double toit : l'une tient le centre de la partie supérieure du panneau d'entrée du vestibule, tandis que l'autre tient le centre de la partie supérieure du panneau d'entrée de la chambre arrière. Ensuite, posez le double toit au sol de manière à le plier en deux au niveau du centre.



- ① Pliez les deux extrémités vers l'intérieur, vers le centre.



- ② Répétez l'opération, puis pliez à nouveau les deux extrémités vers l'intérieur, vers le centre.

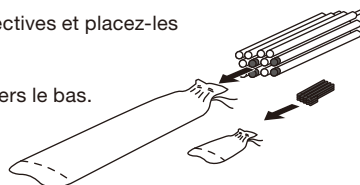


- ③ Pliez-le ensuite en deux verticalement et enroulez-le dans le sens de la flèche.

- ⑤ Rangez les arceaux et les piquets dans leurs housses respectives et placez-les dans le sac de transport.

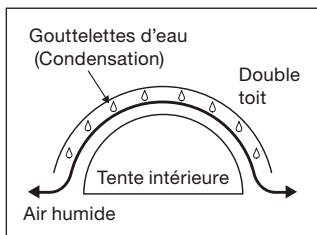
Veuillez faire attention à ne pas oublier de piquets.

Veuillez ranger les piquets avec la tête recourbée orientée vers le bas.



À propos de la condensation

La brume est un ensemble de gouttelettes d'eau en suspension dans l'air qui se transforme en condensation lorsque la température chute rapidement. Dans des espaces confinés, comme l'intérieur d'une tente, la concentration de vapeur d'eau est plus élevée que dans une pièce ordinaire, ce qui entraîne souvent davantage de condensation. De plus, le corps humain est composé à 60 % d'eau, qui est libérée par la respiration et la transpiration. Cela augmente également la quantité de vapeur d'eau à l'intérieur de la tente, favorisant la condensation. À l'intérieur de la tente, la condensation se forme généralement sur les matériaux hautement imperméables, tels que le double toit ou le tapis de sol. Selon les conditions environnantes, il peut être impossible d'éviter complètement la condensation, même en utilisant des matériaux imperméables. Pour réduire la condensation, il est recommandé d'assurer une aération constante pendant l'utilisation de la tente.



Fonctions d'imperméabilisation et de résistance à l'eau

- Le tissu du double toit est traité avec un revêtement déperlant de haute qualité. Toutefois, le niveau de déperlance et la durabilité peuvent varier légèrement selon les caractéristiques de chaque matériau. De plus, la déperlance diminuera après de longues périodes. Lorsque la déperlance faiblit, veuillez utiliser un spray imperméabilisant acheté auprès de votre revendeur local d'équipement extérieur. Lors de l'utilisation de tels sprays, veuillez suivre les instructions du produit.
- Ce produit utilise des matériaux à haute capacité d'imperméabilité. Cependant, si ces matériaux restent en contact prolongé avec des flaques d'eau au sol, l'eau peut finir par s'infiltrer dans le matériau.
- Le revêtement peut également être endommagé par des produits chimiques agricoles, ce qui entraîne une diminution anormale des capacités d'imperméabilité. Veuillez noter que ce type de dommage n'est pas couvert par la garantie du produit.
- Le logo peut se décoller à la suite du traitement imperméabilisant.

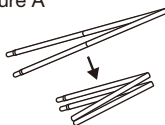
À propos de l'effet des rayons ultraviolets

- Une exposition prolongée du matériau de la tente à la lumière du soleil peut entraîner une décoloration ou une perte de solidité. Ne laissez pas le produit monté de façon permanente.
- Si le matériau se détériore en raison des rayons ultraviolets et est gravement endommagé, il peut devenir irréparable.

Entretien et rangement

- Ce produit utilise une combinaison de tissus en polyester. En tenant compte des caractéristiques du matériau, nous avons choisi des procédés et des motifs de coloration qui limitent la migration des couleurs. Cependant, selon les conditions de rangement, une légère migration des couleurs peut se produire. Ne rangez pas le produit lorsqu'il est mouillé.
- Avant de ranger le produit, il est essentiel de le nettoyer et de le sécher correctement. Si le produit est rangé alors qu'il est mouillé, cela peut entraîner l'apparition de moisissures, de mauvaises odeurs, de migrations de couleur et une dégradation du matériau. Séchez le produit soigneusement dans un endroit aéré et ombragé, puis nettoyez sa surface avec une brosse douce avant de le ranger.
- Nettoyez et séchez la surface des arceaux avant de les ranger. S'ils sont rangés alors qu'ils sont mouillés, ils risquent de se corroder, ce qui entraînerait une perte de solidité. Gardez les jonctions propres et appliquez une petite quantité de lubrifiant silicone ; l'application excessive de lubrifiant risque de tacher le tissu. Assurez-vous que les cordes à l'intérieur des arceaux ne sont pas trop tendues.
- Lors du rangement des arceaux, veuillez les replier depuis le centre vers l'extérieur. (Figure A)
- L'utilisation de la fermeture éclair lorsqu'elle est couverte de boue, de sable ou de poussière peut entraîner une usure ou des dommages. Nettoyez la fermeture éclair avec une brosse avant toute utilisation. Appliquez régulièrement de petites quantités de lubrifiant silicone sur la fermeture éclair afin d'en assurer le bon fonctionnement. N'appliquez pas une quantité excessive de lubrifiant, car cela pourrait tacher le tissu.
- Selon les conditions d'utilisation, le matériau de la tente peut se détériorer sur une large zone, perdant en durabilité et devenant irréparable.
- Le ruban adhésif d'étanchéité pour coutures est appliqué sous pression à une température conçue pour préserver le revêtement. Toutefois, il peut se décoller après plusieurs utilisations. Si vous constatez un décollement, utilisez un fer à repasser à basse température pour recoller uniquement les parties décollées. Notez qu'une chaleur excessive entraînerait une décoloration ou une accélération de la détérioration du tissu. Si le revêtement est complètement décollé, il peut être impossible de le réparer.
- La sève est difficile à retirer. N'installez pas ce produit sous des arbres qui produisent fréquemment de la sève. Si la sève est retirée de force avec un solvant, etc., le tissu ou le revêtement peut être endommagé.
- Pour optimiser la longévité de ce produit, vérifiez et entretenez régulièrement le produit (y compris les accessoires tels que les piquets).
- Avant d'utiliser un produit qui n'a pas servi depuis longtemps, inspectez-le avant utilisation et vérifiez qu'il ne présente aucune anomalie. En cas d'anomalies, confiez le produit au revendeur ou au service client de Snow Peak pour inspection ou réparation.

Figure A

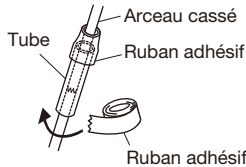


Solutions de réparation rapide

Comme l'armature ou le tissu du produit peuvent être endommagés par des circonstances imprévues, il est important de toujours avoir avec soi du matériel de réparation tel que du ruban adhésif, du ruban vinyle ou un tube pouvant servir d'attelle. Commencez toujours les réparations dès que possible. Si le dommage est laissé sans réparation, le produit pourrait nécessiter des réparations importantes ou devenir impossible à réparer.

- Si le tissu principal se déchire ou présente un trou, limitez l'aggravation en appliquant du ruban adhésif sur l'avant et l'arrière de la zone endommagée du tissu principal, ou démontez la tente.
- Si un arceau se casse, placez un tube servant d'attelle sur l'arceau, puis fixez-le avec du ruban adhésif. Vous pouvez également démonter la tente et retirer l'arceau. (Figure B)

Figure B



Garantie

Snow Peak a pris toutes les mesures possibles pour garantir que chaque produit soit durable et fonctionne correctement. Si vous constatez un défaut sur un produit, veuillez contacter le revendeur auprès duquel vous avez acheté le produit ou le service client de Snow Peak. Si un défaut de fabrication est avéré, le produit défectueux sera réparé ou échangé gratuitement. Dans les autres cas, Snow Peak se chargera de la réparation du produit moyennant des frais appropriés. La décision de réparer ou de remplacer le produit sera prise à la discrétion de Snow Peak. Snow Peak ne procédera à aucune réparation pour les dommages résultant des situations suivantes :

1. Usure due à l'âge du matériau
2. Dommages causés par des modifications ou une manipulation brutale
3. Dommages causés par une utilisation inappropriée non mentionnée dans le manuel d'instructions
4. Dommages causés par des accidents
5. Tout dommage autre que ceux liés à un défaut de fabrication
6. Dommages causés par la poussière ou la rouille
7. Dommages et défauts causés par le démontage du produit
8. Dommages et défauts causés par des chutes, des secousses ou d'autres chocs
9. Détérioration ou défaillance des pièces en raison de la friction
10. Dommages causés par l'utilisation du produit en combinaison avec des produits d'un autre fabricant

Réparation

- Si des réparations professionnelles sont nécessaires, veuillez contacter le revendeur auprès duquel vous avez acheté le produit ou le service client de Snow Peak.
- Avant de faire une demande de réparation, assurez-vous que le produit soit sec et propre.
- Veuillez joindre une note ou une étiquette indiquant la réparation nécessaire et précisez les détails concernant la nature et la date du dommage.
- Les frais de transport et de réparation sont déterminés comme suit.
 1. Dans le cadre de la garantie : les frais de transport (aller-retour) et de réparation sont pris en charge par Snow Peak.
 2. Hors garantie : les frais de transport (aller-retour) et de réparation sont pris en charge par le client.

Spécifications

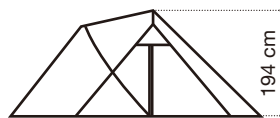
- Matériau : Double toit / Polyester Ripstop 75D avec silicone, revêtement PU, indice d'étanchéité : 1 800 mm minimum, Tente intérieure (paroi) / Polyester Ripstop 20D avec finition déperlante, Tente intérieure (sol) / Nylon Ripstop 40D, revêtement PU, indice d'étanchéité : 1 800 mm minimum, finition déperlante, Arceaux : A6061 (diamètre 16 mm, diamètre 13 mm)

- Contenu : Double toit, tente intérieure, arceau en A (x2), faîtière (x1), arceau en C (x1), mât vertical (x2), piquets en duralium (17 cm x20), hauban avec tendeur (2 m x4, 3 m x2, 3,5 m x1, 7 m de corde à extrémité fourchue x2), produit d'étanchéité pour coutures, sac de transport, housse pour arceaux, housse pour piquets

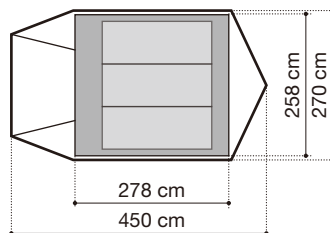
- Dimensions de rangement : 64 x 23 x 27 (h) cm

- Poids : 10,0 kg

- Capacité : 3 à 5 personnes



(Hauteur intérieure 186 cm)



Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, États-Unis

Tél. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa

E-mail : info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japon

Tél +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

FABRIQUÉ AU VIETNAM